

②学会発表(国内)

No.	演題名	演者名	共同演者名	学会名	開催日時	開催地
1	薬害HIV感染症患者へのインタビューから理解する背景(演題5)―病気の捉え方に関する分析から―	中川雄真	長浦由紀、高田知恵子、三木浩司、石田陽子	第36回日本エイズ学会	2022/11/18-11/20	静岡浜松
2	薬害HIV感染症患者へのインタビューから理解する背景(演題6)―人間関係に関する析から―	長浦由紀	中川雄真、高田知恵子、三木浩司、石田陽子	第36回日本エイズ学会	2022/11/18-11/20	静岡浜松
3	医療現場のメンタルヘルスを考える その10―COVID-19による医療従事者の風評被害から考える心理臨床の未来―	大植崇	木村佐宜子、中村有、末次かほり、吉田三紀、三木浩司、森谷寛之	日本心理臨床学会	2022/9/2-9/25	兵庫神戸
4	他施設間共同研究で生じた研究倫理逸脱への対応の適切性についての検討―逸脱対応後アンケートの質的分析を通して―	長浦由紀	石田陽子、高田知恵子、中川雄真、三木浩司	日本心理臨床学会	2022/9/2-9/25	兵庫神戸
5	精神面のアセスメントとケア 危機管理の概要・危機介入とその方法・喪失と悲嘆	三木浩司		平成26年度第7回皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程	2014/6/25	福岡市
6	ストーリー患者への心理アプローチ	三木浩司		第25回九州ストーリーリハビリテーション講習会	2014/3/6-3/8	福岡市
7	①薬物療法について ②気分障害とパーソナリティ障害の見立て、介入	三木浩司		こだち精神医学講座	2014/2/6	福岡市

⑤業績集(日本語論文)

No.	論題名	著者	共同著者	雑誌名	巻・号・ページ	発行年月
1	家族	三木浩司		ともにある4 神田橋條治 由布院・緩和ケアの 集い	Page1-40	2014/8

⑦研究会

No.	演題名	演者名	共同演者名	講演会名	開催日時	開催地
1	認知症ケアのヒント～凹を埋める関わり～	三木浩司		小倉記念病院 認知症ケア委員会 NST褥瘡栄養嚥下委員会 研修会	2018/10/2	小倉北区
2	女性ホルモンとメンタルヘルスケア	奥野香苗		八幡大谷市民センター 出張講演	2018/5/8	八幡東区
3	HIV患者について臨床心理士と精神科医はどう協力していくべきか	三木浩司		第7回東海HIV/AIDS治療 研究会	2015/9/7	名古屋市
4	事例検討コメントター	三木浩司		平成26年度沖縄県 臨床心理士会 緩和ケア事例検討会	2014/8/15	宜野湾市
5	精神疾患について(症状と治療など)	三木浩司		平成26年度精神保健福祉 基礎研究会	2014/5/22	北九州市
6	HIV感染者の心理的支援	三木浩司		第6回東海HIVカウンセリング 研究会	2014/2/15	名古屋市
7	精神障害を理解する①―医学的な理解―	三木浩司		平成25年度北九州市 障害者(児)ホームヘルパー スキルアップ研修会	2014/2/8	北九州市
8	がんの告知場面の臨床	三木浩司		平成25年度沖縄県 臨床心理士会 第2回緩和ケア研修会	2014/2/1	宜野湾市
9	ミニシンポジウム指定討論者 事例検討コメントター	三木浩司		平成25年度沖縄県 臨床心理士会 第2回緩和ケア研修会	2014/2/1	宜野湾市

⑧業績集(解説)

No.	論題名	著者	共同著者	雑誌名	巻・号・ページ	発行年月
1	【患者の死がもたらすストレスと医療者への心のケア】患者の死とストレス 継続的な精神的支援の後に亡くなった事例から	三木浩司		エンド・オブ・ライフケア	4巻5号Page25-30	2020/11
2	わが国における寄生虫妄想研究	稲永和豊	三木浩司	九州神経精神医学	60巻3-4号Page187-190	2015/1
3	【ナラティブ・オンコロジー ―緩和ケアの実践のために】緩和ケアにおけるチーム医療とバーンアウト	三木浩司		N: ナラティブとケア	5号Page63-68	2014/1
4	【がんを生きる人への心理社会的ケア―困難な状況の理解と対応】(第I部) がん罹患の心理社会的側面とその影響 こころ・身体・生活・つながり がん罹患の影響	三木浩司		緩和ケア	22巻6増刊Page2-6	2012/6
5	【がんを生きる人への心理社会的ケア―困難な状況の理解と対応】(第III部) 心理社会的ケアが必要なさまざまな局面とその対応 不安・抑うつへの気づきとケア	三木浩司		緩和ケア	22巻6増刊Page81-84	2012/6
6	【がんを生きる人への心理社会的ケア―困難な状況の理解と対応】(第III部) 心理社会的ケアが必要なさまざまな局面とその対応 不眠に対する治療とケア	三木浩司		緩和ケア	22巻6増刊Page85-89	2012/6